

かんだ

 議会だより No.136

予算	P 2
3月定例会	P 4
視察報告	P 10
一般質問	P 11 ~
かんだスcoop!・あとなぎ	...	P 20

平成 30 年度 新町長 新たな町づくり予算可決!

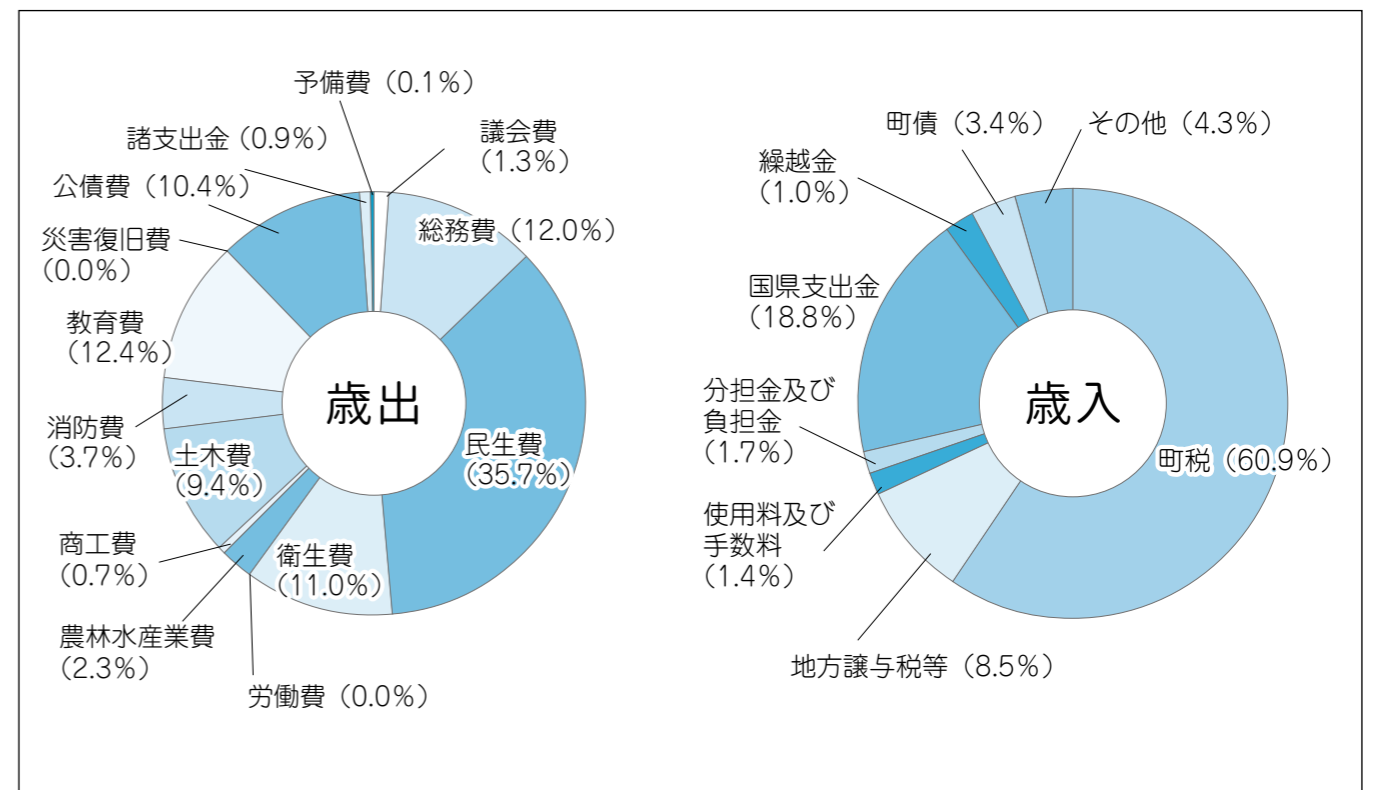
予算総額 126 億 9,103 万円 (前年度比 2 億 8,653 万円増)

主な使い道

民生費 45 億 3,217 万円 (前年度比 9,122 万円増) 子ども・お年寄り・障がい者などに対する福祉事業や医療費などに使われます。 	土木費 11 億 8,774 万円 (前年度比 4,324 万円減) 道路・河川、公園、公営住宅の整備や維持補修などに使われます。 	教育費 15 億 7,774 万円 (前年度比 2 億 856 万円増) 小・中学校、公民館、図書館、体育館などの整備・運営やスポーツ・文化行事などの生涯学習に使われます。 														
総務費 15 億 2,591 万円 (前年度比 9,135 万円増) 職員の人件費、庁舎などの維持管理、税金の徴収、戸籍や住民票の発行、選挙の実施、空港や高速道路対策などに使われます。 	公債費 13 億 2,328 万円 (前年度比 4,417 万円減) 町が借りているお金の返済に使われます。 	衛生費 13 億 9,616 万円 (前年度比 3,513 万円減) 健康診断など町民の健康対策や、ごみやし尿の処理に使われます。 														
消防費 4 億 7,548 万円 (前年度比 864 万円増) 火災の消火活動、病気・けがなどの救急搬送業務などに使われます。 	農林水産費 2 億 9,460 万円 (前年度比 840 万円減) 農道・林道・ため池などの整備改修や農林水産業の振興に使われます。 	議会費 1 億 6,244 万円 (前年度比 801 万円増) 町議会議員の報酬や共済年金負担金、議会事務局職員の人件費、議会運営に使われます。 														
商工費 8,895 万円 (前年度比 953 万円増) 商店街の活性化や企業誘致など、商業や工業の振興に使われます。 	特別会計予算 <table border="1"> <tr> <td>国民健康保険特別会計</td> <td>32 億 7,194 万円</td> </tr> <tr> <td>後期高齢者医療特別会計</td> <td>4 億 9,303 万円</td> </tr> <tr> <td>介護保険特別会計</td> <td>25 億 6,674 万円</td> </tr> <tr> <td>土地区画整理事業特別会計</td> <td>4 億 7,560 万円</td> </tr> <tr> <td>住宅新築資金等特別会計</td> <td>293 万円</td> </tr> <tr> <td>苅田臨空産業団地開発事業特別会計</td> <td>177 万円</td> </tr> <tr> <td>京都郡公平委員会特別会計</td> <td>67 万円</td> </tr> </table>		国民健康保険特別会計	32 億 7,194 万円	後期高齢者医療特別会計	4 億 9,303 万円	介護保険特別会計	25 億 6,674 万円	土地区画整理事業特別会計	4 億 7,560 万円	住宅新築資金等特別会計	293 万円	苅田臨空産業団地開発事業特別会計	177 万円	京都郡公平委員会特別会計	67 万円
国民健康保険特別会計	32 億 7,194 万円															
後期高齢者医療特別会計	4 億 9,303 万円															
介護保険特別会計	25 億 6,674 万円															
土地区画整理事業特別会計	4 億 7,560 万円															
住宅新築資金等特別会計	293 万円															
苅田臨空産業団地開発事業特別会計	177 万円															
京都郡公平委員会特別会計	67 万円															

主な事業

1 未来を拓く人づくり関連事業	
学校空調設備設置事業	2 億 5,000 万円
総合体育館耐震診断業務委託料	1,785 万円
2 活力ある産業のまちづくり関連事業	
かんだ港まつり補助金	1,000 万円
曾根行橋線道路新設改良工事	2,538 万円
3 安心して安全に暮らせるまちづくり関連事業	
各区の防犯灯の LED 化推進事業	1,512 万円
保育士処遇改善事業補助金	532 万円
消防本部連絡車更新事業	510 万円
4 快適で潤いのある環境づくり関連事業	
コミュニティバス購入	2,268 万円
城南団地 17 棟外壁改修工事設計業務委託料	447 万円
生活排水処理基本計画策定業務委託料	606 万円
5 協働と自立のまちづくり関連事業	
ふるさと応援寄附金事業	5,630 万円
転入外国人向け冊子作成業務委託料	365 万円
社会貢献活動事業に要する経費	60 万円



3月
定例会

2月27日～3月20日

平成30年度苅田町一般会計予算等33件、
意見書3件を慎重審議

補正予算

平成29年度一般会計補正予算(第7号)は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億744万7千円を追加し、補正後の総額は

132億6831万8千円。

条例の廃止

●苅田町国民健康保険特別会計に属する保険給付費支払準備基金の設置、管理及び処分に関する条例

県が負担することとされていることから廃止するもの。

条例の改正

●苅田町特別職の非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例
●苅田町火葬施設の設置、管理及び運営に関する条例

指導主事報酬について、近隣自治体の水準に合わせるための改正を行うもの。

*平成29年度補正予算(第7号)

一般会計	5億744万円
歳出(増額補正の主なもの)	
・補助金返還金	347万円
・自立支援給付費	880万円
・障害児通所給付費	580万円
・土地区画整理事業特別会計への繰出金	4,686万円
・公共施設整備基金へ	1億円
・企業立地奨励金基金へ	2億円
・財政調整基金へ	4億2,821万円
住宅新築資金等特別会計	542万円

●苅田町職員の給与に関する条例

級別定数表を変更する必要があるので、所要の改正を行うもの。

●苅田町手数料条例
政令の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

●苅田町後期高齢者医療に関する条例

法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

●苅田町介護保険条例

第7期介護保険事業計画の策定及び介護保険関係法の改正に伴い、保険料等の改正を行うもの。

●苅田町火葬施設の設置、管理及び運営に関する条例

車両の更新に併せ、霊柩自動車使用料について民間や近隣自治体と比較し、また現在の利

用者数と運営費を考慮して、使用料を増額するため所要の改正を行うもの。

●苅田町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例

法律の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

●苅田町都市公園条例

法律の改正に伴い、公園内の運動施設の基準を定めるもの。

その他の議案

●福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村退職手当組合規約の変更

豊前広域環境施設組合が解散されることに伴い、福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数を減少し、規約を変更するもの。

●京築広域市町村圏事務組合規約の変更

京築広域市町村圏事務組合の事務所の位置を

変更することに伴い、規約を変更するもの。

●町道路線の変更

北九州広域都市計画道路事業 曾根行橋線の施行に伴い、町道路線の終点及び幅員を変更。

人事案件

●教育委員会委員の任命
原田真喜子氏を任命することに同意。

意見書

●所有者不明の土地利用を求める意見書
●バリアフリー法の改

正及びその円滑な施行を求める意見書

●労働契約法に基づく無期転換ルールに関する意見書

追加議案

●平成29年度苅田町一般会計補正予算(第8号) 国指定重要無形民俗文化財「等覚寺の松会」の存続が危ぶまれ、形態が急速に変化していることが予測されるため、その資料映像を緊急に作成し、記録の保存業務を委託するもの。699万円を追加。



新副町長に

福井利彦氏が

選任されました

【福井利彦氏略歴】

昭和48年 7月生まれ
平成9年 九州大学経済学部卒業
福岡県庁入庁(民生部老人福祉課)
平成28年 福祉労働部子育て支援課企画主査

議案質疑

平成30年度一般会計予算

●ふるさと納税の収支について、平成28年度の実績は、

経費を差し引いた町の収益は約6千万円。

●ふるさと応援寄附金促進業務委託料の内容、委託先、金額の算出根拠は、

●株主とふるにお願いの更新、事務処理、配送業務等。成功報酬の12%を支払っている。

●連携中枢都市圏観光PR事業の構成団体、なぜ大連なのか。

●17市町。大連は北九州市の友好都市だ

から。

●要望 正当性があり適切なのか考慮し予算執行していただきたい。

●北九州空港利用促進協議会負担金と連絡会負担金の違いは、

●協議会は県が事務局で新規路線の就航、路線拡大、航空貨物の集荷促進を図る。

連絡会は北九州エアターミナルが事務局で新規路線の就航促進、チャーター便の運航助成、各種利用促進を図るためのイベントを行っている。

●コミュニティバスを新たに何台導入するのか。

●低床バス1台。中央ルートに導入。

●空き家等対策協議会の内容は、

●30年度に新設し、空き家等対策計画の

作成、危険な空き家を特定空き家等に認定を協議。

●行橋京都メディアカルセンター特別会計負担金が増えている理由は、

●均等割20%、人口割20%、利用者割60%で、負担金の変動があるため。

●地球温暖化対策実行計画策定業務委託料の内容は、

●各自治体における温室効果ガスの排出量削減に向けての計画を立てる。100%補助金。

●苅田町農業公社の今後の運営方針について。

●検討をしているがまだ結論が出ていない。

●水産振興費について、漁業の発展のための計画は、

●観光案内や、カキ

の販売店マップ等あるが、今後漁協と販売所周辺整備を検討していきたい。

●地域おこし協力隊賃金、起業支援補助金の内容は、

●地域おこし協力隊員1名、任期7月までの賃金と協力隊員が起業するときの支援金。

●観光協会の単独事業、また、取り組むべく観光政策は、

●単独事業として、毎月第1日曜日に苅田駅前で行っているえきらく大市、また、イベントに出店する事業者の紹介等。

●学校空調設備設置工事の財源と設置数は、

●経費の75%を起債、残りは公共施設整備基金の取り崩し。経費を抑え、早期設置

のため130教室。

●残りの教室の設置は、

●今のところ計画をしていない。

●就学援助の医療費の内容は、

●援助対象者が健康診断で疾患があった場合の医療費。

●図書購入費が減っているが足りるのか。

●近隣自治体での1人当たりの図書購入費は最低。

●予算全般で白川地区の振興、活性化にかかわる予算が少ないのでは、積極的な活性化振興策をとっては、

●非常に大切だと思っっている。今後の課題である。



新コミュニティバス

平成30年度苅田町国民健康保険特別会計予算

●保険料の値上げは、

●30年度は据え置き。

●霊柩車の使用料1万円の減免措置はあるのか。

●利用者一律。生活保護者の方は、保護費から出ると聞いている。

総務 常任委員会

▼**苅田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例**

Q 本町だけの改正か。

A 本町の改正で、今回は教育関係の非常勤職員の見直しを行った。

▼**苅田町手数料条例の一部を改正する条例**

Q 条例の改正の内容は。

A 消防法に基づく貯蔵所の設置許可に対する手数料の改定である。

▼**京築広域市町村圏事務組合規約の変更**

Q 事務局は持ち回りなのか。

A 持ち回りで、行橋市・豊前市で交互に行なっている。

▼**一般会計補正予算(第7号)**

Q 福岡県防災・行政情報通信ネットワーク再整備事業負担金の減額の内容は。

A 入札が遅れたことにより負担額の変更が生じたため減額した。



苅田町消防本部

産業建設 常任委員会

▼**苅田町都市公園条例の一部を改正する条例**

Q 利用時間の管理は。

A 自己申告であったが、今後は様々な方策を検討する。

▼**一般会計補正予算(第7号)**

Q 港湾振興費の減額理由は。

A 県の事業費の減額のため。

Q 土地区画整理事業特別会計への繰出し金の増額理由は。

A 保留地の売却が進まなかったため。

▼**町道路線の変更**

Q 今古賀団地15号線の完成予定は。

A 平成30年度末を目指している。



大熊公園グラウンド

厚生文教 常任委員会

▼**苅田町火葬施設の設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例**

Q 3倍以上の金額になるため検討できないか。

A 他の市町村や民間の料金を参考に検討しており、また霊柩車事業の収支を均衡させるため。

▼**一般会計補正予算(第7号)**

Q 霊柩車の増額理由は。

A 当初は3名乗りの車両を予定していたが6名乗りの車両に計画を変更したため。

▼**一般会計補正予算(第8号)**

Q 補助金の申請はするのか。

A 文化庁等の補助金はあるが30年度の申請は終了しており難しい。

Q 今後の再生計画は。

A 映像を残して今後行事が復活できるように白川地域全体で行えるように計画していく、また、教育現場でも活用できるようにする。

要望 補助金を獲得できる体制づくり、申請

できるような前もつての準備を早めに行っておくよう要望する。



等覚寺の松会

予算 特別委員会

一般会計予算

▼**時間外勤務手当**

Q 昨年より職員が2名増えたのに減額になっている。

A 勤務時間中に仕事効率がよく回ったため減額となった。

▼**光熱費**

Q 地元に貢献がある会社に戻すとの検討は。

A 3千万円以上のコスト削減効果がある。もう少し新電力を続ける。

▼**防犯灯設置補助金**

Q LED化を進めるといいますが数も含めて説明を。
A 防犯灯は約2900ある。3分の1がLED化済み、残りを3年間かけて全てLED化していく。

▼**地域自殺対策計画策定業務委託料**

Q 以前はなかった、新規事業か。

A 新規事業で、市町村ごとに策定するよう法律で義務付けられた。3分の2が補助。

▼**かんだ港まつり補助金**

Q 花火大会が、内容や内訳は。

A イベントや警備・バスの運行や会場設置費用である。

▼**町民プール指定管理委託料**

Q 財政負担が大きい、町民プールの方向性を示すべきでは。

A 施設全体で10万人の利用がある、利用継続も含め検討の対象である。

▼**歳入全般**

Q 一時借入金最高額は20億円だが、財調を取り崩さずに出来るのか。

A 本年度は8億円の一時借入金、30年度は財調の取り崩しは見込んでいない。

▼**線越明許費 学校空調設備設置工事**

Q 夏休みの工事と聞いているが、今から計画では遅いのでは。

A 7月に業者選定を行い10か月程度の工期を予定している。31年の夏には完成させたい。

▼**国民健康保険 特別会計予算**

Q 一般被保険者療養給付費が前年度より2億5713万円減となった理由は。

A 国保加入の対象者が年々減っている。

Q 累積赤字の額と処理は。

A 2億3700万円余りが赤字。県から6年間を目途に赤字解消を指導されている。

介護保険 特別会計予算

Q 主治医意見書作成手数料外664万8千円は何件分か。

A 1400件分である。

土地区画整理事業 特別会計予算

Q 保留地処分の来年度の予定は。

A 28街区の2と3を予定。

下水道事業会計予算

Q 汚水処理計画の見直しは、また、人口減を視野に入れているか。

A 白川北部を農業集落排水事業で県に報告。人口減で浄化槽に切り替えるならば見直しが必要。

水道事業会計予算

Q 伊良原ダムが完成すれば、本町の責任水量と金額は。

A 水で日量770トン、トン当たりの金額は決まっていない。



伊良原ダム

3月					2月					1月																									
20日	19日	15日	13~14日	12日	6~8日	6日	2日	1日	27日	23日	22日	19日	14~15日	9日	5日	1~2日	24~25日	23日	16日	15日	11日	11日													
議会閉会	厚生文教常任委員会(付託議案について)	議会運営委員会(3月定例会追加議案について)	議会広報特別委員会(行政視察(西日本工業大学)について)	3月定例会追加議案について	全員協議会(庁舎整備方針検討業務について、3月定例会追加議案について)	予算特別委員会	議会広報特別委員会(136号の企画・編集)	付託委員会	一般質問	議会運営委員会(3月定例会追加議案について)	議案質疑	議案質疑	議会運営委員会(3月定例会追加日程の協議について)	議会開会	議案質疑	議会開会	議会運営委員会(3月定例会について)	議会広報特別委員会(135号の企画・編集)	総務常任委員会(行政視察(愛知県みよし市・高浜市))	産業建設常任委員会(行政視察(京都府綾部市))	ごみ問題対策特別委員会(ごみ問題対策について)	行財政改革特別委員会(行財政改革について)	厚生文教常任委員会(行政視察(沖縄県八重瀬町))	空港・企業立地対策特別委員会(北九州空港利用状況について、臨空産業団地・空港関連用地について)	全員協議会(3月定例会提出予定議案について)	議会広報特別委員会(136号の企画・編集)	議会開会	議会運営委員会(3月定例会について)	議会広報特別委員会(135号の企画・編集)	福岡県町村議会議員研修(政策議会のための質問力、「新年政局展望II」)	福岡県町村議会議員研修(「3選」「改選」「アベノミクス」：難題に直面する安倍1強政権II)	議会広報特別委員会(135号の企画・編集)	議会開会	議会運営委員会(3月定例会について)	議会広報特別委員会(135号の企画・編集)

議会のうごき

平成30年第1回 苅田町議会定例会議決結果一覧表		村上智宣	高橋達之	屏正隆	岩谷潔	沖永義樹	白石学	友田敬而	榎谷忠明	常廣直行	三原茂	井上修	武内幸次郎	梶原弘子	松蔭日出美	小山信美	坂本議長	結果	
議案第1号	平成30年度苅田町一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第2号	平成30年度苅田町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第3号	平成30年度苅田町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第4号	平成30年度苅田町介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第5号	平成30年度苅田町土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第6号	平成30年度苅田町住宅新築資金等特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第7号	平成30年度苅田町苅田臨空産業団地開発事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号	平成30年度京都郡公平委員会特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第9号	平成30年度苅田町下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第10号	平成30年度苅田町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第11号	苅田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第12号	苅田町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第13号	苅田町手数料条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第14号	苅田町国民健康保険特別会計に属する保険給付費支払準備基金の設置、管理及び処分に関する条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第15号	苅田町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第16号	苅田町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第17号	苅田町火葬施設の設置、管理及び運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第18号	苅田町地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第19号	苅田町都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第20号	福岡県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県市町村退職手当組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第21号	京築広域市町村圏事務組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第22号	平成29年度苅田町一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第23号	平成29年度苅田町国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第24号	平成29年度苅田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第25号	平成29年度苅田町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第26号	平成29年度苅田町土地区画整理事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第27号	平成29年度苅田町住宅新築資金等特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第28号	平成29年度苅田町下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第29号	平成29年度苅田町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第30号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第31号	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第32号	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	同意
議案第33号	平成29年度苅田町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第1号	所有者不明の土地利用を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第2号	バリアフリー法の改正及びその円滑な施行を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
意見書第3号	労働契約法に基づく無期転換ルールに関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決

○一賛成、×一反対
 ※議長は採決に加わらない。但し賛成、反対が同数の場合は議長判断による。※可決された意見書は、関係機関に送付しました。

6月定例会の予定

6月12日(火)から
6月29日(金)まで

* 一般質問は
6月19日(火)
6月20日(水)
6月21日(木)

* 開催時間は
午前10時～午後5時
* 受付 庁舎6階にて
* 問合せ先 議会事務局
☎ 093・434・1981

3月議会の傍聴者
58名

議会改革 議会中継実施しています!

視聴方法 苅田町ホームページの「インターネット議会中継」をクリックすると、苅田町議会インターネット中継の画面が表示されますので、「ライブ中継」または「録画中継」をクリックし、ご希望の会議映像をご覧ください。



ココをクリック!
新しい画面が開きます.....↑

3月末アクセス件数
 ライブ中継 1,300件
 録画中継 1,537件(平成29年4月からの累計)

▼総務常任委員会視察研修

愛知県みよし市・高浜市（1月24・25日）

【視察内容】

庁舎建設事業・業務継続計画・庁舎改修

みよし市の庁舎機能の備えは、免震構造を導入した防災拠点とし、当初計画は44億円で、最終的には28億円の事業費で完成させており、また、平成29年3月には業務継続計画が策定され、810万円で業務継続計画書を完成させていた。

高浜市は、高浜市公共施設マネジメント白書を基に、公共施設のあり方検討委員会を設置して本庁舎整備事業に取り組み、現在のリース方式20年間、市の敷地に民間が建てた建物を賃借し、経費の平準化



を図る方法を選択した。また、事業費は合計で33億2400万円、年平均1億6620万円と計算した金額を下回る金額の提示で提案を求め、公募型プロポーザル方式で入札を行った。研修で得た教訓を今後の議論に役立てたいと思う。

▼産業建設常任委員会視察研修

京都府綾部市（2月1・2日）

【視察内容】

都市計画区域の区域区分の廃止

綾部市では、平成28年5月から区域区分を廃止しており、廃止に当たっては新たな開発ルールを定めたまちづくり条例やまちづくり計画を策定し、無秩序な開発が行われないよう方策を講じている。廃止するきっかけは、人口減少・少子高齢化が進展する中、定住化や企業誘致、新たなまちづくりを目指している。そんな政策にチャレンジしようとするが、必ず区域区分の壁にぶつかりうまくいかなかった。



はじめは、関係機関から激しい抵抗もあったが、綾部市の状況（市街地拡大の可能性が低い、良好な市街地が形成されている、緑地等自然環境は他の法令により保全されている）を再三府に説明を行い、許可を受けた。廃止後は、徐々に住宅や店舗の件数が増加している。苅田町でも同様に、定住化・企業誘致を進めており、非常に参考となる事例であった。

▼厚生文教常任委員会視察研修

沖縄県八重瀬町（2月14・15日）

【視察内容】

ファミリーサポートセンター事業

八重瀬町では平成23年4月より、八重瀬町社会福祉協議会と業務委託契約を結び、アドバイザー1名と担当職員1名でセンターの運営を行っている。会員の種類としては、ファミリー会員、サポート会員、どちらも会員があり、ファミリー会員が増加し依頼件数が増加する一方、サポート会員が減少しており、新たなサポート会員の養成・確保が課題となっているとの事だった。



また、利用者の43.9%がひとり親世帯の利用ということもあり、育児の負担軽減を図り子育て環境を整えるため、利用者負担軽減事業にも取り組んでいた。事業の主な成果としては、子どもの貧困対策事業との連携や、生活困窮世帯、発達課題がある子や障がいを抱えた子の保育園や学校、行政と情報共有等で連携が取れるようになったとの事だった。

JR小波瀬西工大前駅周辺整備事業

Q JR小波瀬西工大前駅の今後の取り組みは

A 基本構想をベースに実現に努める



村上智宣 (大樹会)

Q まず取り除くべき課題は。

A 駅前の前面道路の改修、整備。
Q 現在の基本構想は、山手側の県道の工事を踏まえているか。
A 基本構想と関連していない。

Q 小波瀬駅周辺を整備することで、今後駅周辺がどのように発展していくことを想定しているか？

A 商業施設など、人の交流から地域活性化につながる想定。
Q 本事業に伴っての人口増加や税収の増といったシミュレーションはとっているか？

A 現在ははない。
Q 前回の議会から3ヶ月が経っているが、何かしら行動したことはあるか。
A 基本構想をブラッシュアップして、費用、補助金、受益者負担の検討などの洗

い出しをかけてどの時期に何をやるかを今決めている。
Q 以前の工程案では約4年半の期間がかかる。このままでは町長の任期中には工事に取り掛かれないのでは。
A 事業全体の費用が約30億円という話があったが、もっと低コストでできないか検討し、民間も含めての補助金の検討も行って、財政の健全化を進めながら小波

瀬駅に投資する資金を生み出したい。
Q 複数の工事に分けて再度基本構想を検討してみてもいいか。
A 最終的な絵を描いて、それに向けて順次投資をしていく。

Q 基本構想の見直しにかかる費用は。
A お金よりも東西の自由通路を作ることが優先。加えて、JR九州幹部と小波瀬駅が投資の対象にならないか話を聞いてみたい。
Q 補助金申請は可能か。
A 基本設計、実施設計をした後となる。
Q いつ頃を目処に予算化をしようとしているか。
A 今、本町が使っているお金の使い方の見直しを進めている。

提言 財源がない現状でも、できることは少しでも前に進めてほしい。
井場川跡地の利用について

Q 当初の制限は撤廃されたと考えてよいか。
A 当初の申請理由の目的と合致しているかの確認が必要。
Q 申請理由の港湾流

通拠点とは、どのようなものか。
A 漁業や環境資源などの本町に関する情報を提供する施設。
Q 財政の問題で建設できなかったのか。
A そう聞いている。

提言 提言、収益性が見込めるものを使っていないのはもったいない。町全体としてプラスを見込めるものは、ぜひ真剣に考えていただきたい。



小波瀬西工大前駅

Q 国保税は新制度の移行で上がるのか

A 現行の税率を据え置く



高橋 達之 (日本共産党)

Q 新制度移行にあたって、県の運営方針に拘束されるのか。

A 運営方針に従って運営する。

Q その目的に「住民サービスの向上を目指す」とかかれていているが。

A 最大のメリットは財政の安定化が図れる。個々においては高額医療費の算定が県内で居住地が変わっても通算される。

提言 被保険者へのサービス提供は当然のこと。全住民へ目

に見えるサービスの向上を図っていただきたい。

Q 構造的課題を抱える国保の財政的負担は国、県、市町村のいずれがすべきか。

A 社会全体で支える。

Q 激変緩和措置とは。

A 平成28年度と30年度を比較し、納付金が延びた場合に対応する措置。32年度までの3年間で使う。

Q 少なくとも平成32年度までの3年間は保険税の引上げはないのか。

A 毎年見直すですが、できるだけ引き上げなくしていくように努力する。

Q 年度途中で県が納付金の追加負担を求めてきたらどうするか。

A 追加徴収されることはない。

Q 世帯内の加入者数に応じて賦課される子どもの均等割りの減免を考慮してもらえないか。

A 子どもの均等割りには考えていない。

提言 子育て支援の観

点からも、均等割りの減免を要望する。

非正規職員の任用

Q 町は非正規職員の割合が高いが。

A 財政改革による人件費の抑制で非正規職員を活用し運営してきたのが原因。

Q 臨時的任用職員の任用規定には再任用の制限があるが、県から制限を設けるなど通達されているのか。

A 平成32年度に向けて任用制度を前向きに取り組む。

Q 非常勤と嘱託職員の任用規定には任用制限はないが、現場の職員は制限があると周知している。どう対応するか。

A 今後は空白期間を設けないで応募できるように取り組む。

るように運用する。

中学校の部活動

Q 部活動顧問を外部から学校職員として積極的に求めたらどうか。

A 県で予算化が進められている。予算が確定したら適切に判断する。



中学校の部活動

Q 財政健全化方針の工夫をきく

A 企業誘致を積極的に進め人口を増す



梶原 弘子 (日本共産党)

Q 本町には大企業が並んでいる。なぜ財政が厳しいのかとよく聞かれる。町長はいかがか。

A 「どうしてか」という質問は受ける。税収増につながる人口増と雇用の創出は、県などと連携しながら企業誘致活動を積極的に進めていきたい。

Q 大企業は空前の収益を上げているが、企業からの税収は増えていないのか。

A 税収は税の負担割

合の法に則って納税をしていただいている。

Q 町内の外国人労働者の人数をみても、労働者問題は変わってきているが。

A 企業は求める人材の数が揃わないため、外国人に依存している。町内の人が応募してくれないという問題のほうが企業として大きいという認識ではないのか。

提言 人間は、機械ではない。眠る時間、働くなど人間の生理

に合わない労働の仕方では労働者は集まらない。

義務教育の問題点と改善について

Q 子ども達の健康について何を主題にして進めていくのか。

A 学校保険法に基づき、心身の健康状態をみていくこととなる。

先生の働き方について

Q 労働法では「先生の昼休みは取得できる」となっているが実態は。

A 子どもを目の前にして教師は色々なことに携わっている中で、休みは取れていない。

Q 先生方の労働時間は長い。11時間近く働いている先生もいると聞くが長時間労働を防ぐためにもタイムカードの設置はできないのか。

A 来年度1台導入し試験的に教員の勤務時間を把握してみたい。

水道政策について

Q 尾倉区山側の住宅地に水道設置を何度か質問してきたが。

A 以前の質問では消火栓も合わせたものだったので予算的に高額で、水道施設だけならば条件が違ってくる、改めて陳情書を出してほしい。

同和予算について

Q 30年度の予算では、同和予算は前年度と全く同じ金額である、どういったことなのか。

A 1市2町と情報交換を行い、行橋市、みやこ町とも前年度と同じ予算要求だと聞き、足並みを揃えた。

Q 今年も全く同じだということ、何も変わらなかったのか。

A 金額が同じだからといって、活動に変化がなかったという事はない。



尾倉区山側

Q 財政健全化は

A 近道はない
行政評価の見直しから



白石 学 (公明党)

Q 財政悪化の原因は。
A 財政負担の検証がないまま、大型事業に着手し、短期的視点で事業を実施した。改善する。

Q 長期を見据えた町長の指針は。
A 人に優しく、町を元気にするため、新たな投資を行うつつ、財政健全化を進める。

Q 「地方自治体の財政健全化の法律」については。
A 4項目の健全化判断比率を、議会に報告し、公表している。

Q 「地方財政健全化法」では、基準以下で健全というが、本町は不交付団体、この法律は無意味だ。
A ほかの市町村と比較するには環境が違う。ただ補助金などは少ない。

Q 放漫な経営で赤字だ。独自の財政健全化の規律が必要では。
A 規律ある財政運営について、検証する。

Q 余剰金の2分の1は、財政調整基金に
A 半分は積み立ての予算編成の規律を守らなかつた。当時は財政需要があつた。
提言 7年間の赤字は基本原則を守らなかつたから。町独自の財政健全化の規律をつくるべきだ。

Q 数値としては、把握していない。
Q 県の事業か。
A 国・県・町と連携し、ネットワークづくりで、個々の事例に対応する。
Q ボランティア事業に、ひとり親家庭生活支援事業があるが。
A 県事業で、月に1回、文化会館で開催。町は場所の確保に協力。
Q 子どもの貧困やひとり親家庭の実態把握が必要だが。
A 役場の連携会議などで検討する。
Q 子育て初期段階の支援は。
A 妊娠・出産、子育て期に助産師を配置。切れ目のない支援を実施。



苅田駅東西線通路橋

Q 公共施設を含む、すべての資産の管理計画は。
A 策定が出来ていない計画は、31年度に着手する。

Q 2005年以降の橋梁の塗装は、重防食塗装か。
A 塗装便覧、塗装仕様に従っており、間違いない。

Q 本町の福祉行政は

A 暮らしやすい、健康で明るく安心できるまちづくりを目指す



松蔭日出美 (未 来)

Q 夢のある町づくりについて
A 町の元気を創出するため、30年度予算に学校空調設備の設置などを計上した。

Q 財源についてどうするの。
A 財政の健全化に取り組み、また企業進出を促し、財源を生み出して元気なまちづくり投資を行うたい。

Q 学校空調設備の教
A 普通教室の130室で2億5千万円を予定。
Q 特別教室はどうするの。
A 今後、設置を検討していきたい。

Q 今回の対象から外れた教室も一緒にやった方がいいのでは。
A 財源の75パーセントが起債であるため、財政健全化の目標達成のため、できるだけ少ない起債にした

Q 少子化対策のため
A 計画はないが、検討はしてみる。

Q 少子化対策のため
A 計画はないが、検討はしてみる。

Q 夢のある町づくりには、多額の予算が必要。子ども達のために空調設備設置の決断は評価するが、今後借金を恐れず、に町を元気にする施策に取り組んでもらいたい。

本町の防災について

Q 本町の地震を含めた防災対策は。
A 大地震を想定した業務継続計画を作成している。

Q 障害者が避難する場所は計画されているの。
A 12箇所の避難所を指定している。最寄りの避難所に避難していただくことになっている。

Q 災害時に支援が必要な方の把握は。
A 高齢者や障害者を対象に支援者登録をしていただく取り組みを行っている。約7割の登録ができて

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に



Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 各地域の障害者のために、1年に1回の訓練の実施を行う
A 今年度の1月に各区の自主防災組織や障害者団体の方々が参加し、南原小学校に

Q 基本に立ち返った
予算編成が重要

A 方針に沿った
予算編成を進めた



常廣直行 (飛翔の会)

新年度予算

Q 予算がほぼ決まりつつある時期に、新町長の政策を反映するには、相応な配慮もあつたのでは。

A 編成方針策定時に、町長とのヒアリングで計上した。

Q 1期4年間を一節として、公約、政策を進めるためのロードマップは。

A 今、課題をたくさん自分の中に持ち込んでいる。整理をし

ている段階だ。

Q 公約や政策の実現と、財政健全化のバランスは。

A 専門チームを編成して、集中的に議論して進める。

Q 予算編成は、上位計画や手順、ステップなどを基本に戻すことが必要だ。

A 業務にも盛り込まれるような仕組みをつくれれば、基本に戻すことにつながる。

Q なぜ、新年度予算に実施計画が示され

なかつたのか。
A 30年度は議会の議決後、数字を入れてから示す予定。

公共施設の老朽化と更新問題

Q 予測が難しい災害とは違って公共施設は放っておくと必ず崩壊すると指摘した。

A 役場周辺の施設も含め、更新について検討していく。

Q 2年前に出された財政健全化に関する

意見書に、「耐震改修の早期推進が求められる」と指摘されているが。

A 今年度は役場庁舎の耐震化調査を実施。総合体育館は新年度予算で耐震診断を行う。

Q 実施計画では庁舎整備事業費は「未定」小波瀬西工大前駅周辺事業費「ゼロ」だ。

A 庁舎整備は耐震改修か、建て替えかを検討してきた。小波瀬西工大前駅周辺は、基本構想を再検討する。

Q 公共施設整備基金の事業・財政計画など示すべきだ。

A まずは、庁舎の更新のため10億円程度を積み立てる。

Q 現状を調査し、改修、建替え、複合化、

取捨選択し全体的な計画が必要だ。

A 各施設に基本方針あり、管理課を集め、検討を進める。

Q 担当課任せでは、人材や財源確保など難しい。

A 費用や優先順位などが決められるような新しいチームを町長部局につくりたい。課題に特化する人材、専門技術を持った人材など、全体的

なプロジェクトチームをつくるのが大切だが。

A 力を合わせて結論を導いていく、そんな組織にし、私も積極的にかかわっていく。

提言

公有資産を総合的に企画管理する専門チーム。「ファシリテイマネジメント」という考え方を提言したい。



小波瀬コミュニティセンター

選挙公約の実現は

A 財政状況を
勘案し取り組む



武内幸次郎 (未来)

Q 新年度予算の自己評価は。

A 予算を組むに当たり改めて財政状況の厳しさを再認識した。8割位である。

Q 行政の守備範囲を的確に捉えないと時代に沿った行政需要に対応できない。

A 財政健全化が私の使命だが守備範囲についても考えていく。

Q 行政力の強化が必要だ。そのためには職員の意識改革が不可欠だ。対応策は。

A 問題意識を持って

いると思うが、意見の出しやすい環境を作り出しモチベーションを高めたい。

Q 行政運営の効率化を図るうえで行政評価の強化が必要だ。

A 従来の行政評価では次のステップへの反映が弱い。4月よりプロジェクトチームを立ち上げ検討しに行く。

Q 臨時財政対策債を平成13年〜24年まで42億2千万円程、借りたが国で言う赤字国債だ。借り受け効

果とマイナス効果は。
A 当時の行政需要、大型事業に活用した。毎年2億7千万の返済であり、財政状況を苦しくしている。

Q 義務的経費が年々膨らみ魅力的な町づくりに必要な投資的経費の削減でつじつまを合わせて来たのでは。

A 裕福な町と言われて来たが景気の低迷による税収減が要因の一つ、使い方を見直し健全化に取り組む。
Q 新たな財源も必要

だ。県では航空機産業企業群の形成に乗り出すとのことだが本町の対応は。

A 具体的には考えてないが航空機産業の進出が頂ければと思っている。

Q 京都府綾部市では人口減少による利便性や活力の低下を食い止めたいと線引き廃止を行った。本町も必要。

A 町の発展のために国、県にアクションを行う。

Q ソフト面の強化も定住化には必要だ。待機児童の現状は。

A 29年6月時点で46名、30年度入所申請状況では32名である。

Q 待機児童対策として保育士の確保が不可欠だ。処遇改善事業補助金を3ヶ年計

画で行っているが今後は。

A 国の保育士処遇改善施策に乗せて保育士確保の一助として行っている。今後、近隣の動向も見極めたい。

提言 小規模保育事業は0〜2歳児を対象で6人〜19人の認可保育施設であり、町としても対応しやすい検討を。

綾部都市計画
区域区分(線引き)廃止

住んでよかった... ゆったりやすらぎの
田園都市・綾部の実現に向けて

綾部市が目指すまちづくり

綾部市では、人口減少、少子高齢化が進行し、今後さらに深刻化することが考えられます。特に中山間地域や農村集落では、その進行が著しく、地域によってはコミュニティの維持や集落の存続に支障をきたす恐れもあります。また、市街地では、人口や商店などが減少し、空き地、空き家など低・未利用地の増加により、市民の生活の利便性の低下や市全体の活力が弱まることも懸念されます。

そのため、農村集落の定住促進、中心市街地の低・未利用地の有効活用、良好な交通アクセスを活かした土地利用など、社会情勢や地域特性に応じたきめ細やかな土地利用を進めていくことが重要と考えています。

そこで、農村集落を維持しつつ活性化を図るとともに、旧村単位の地区が独自の特色を活かしつつ、地域振興、活性化を図り、豊かな自然環境との調和と良好な居住環境の形成を目指します。

また、良好な交通アクセスを活かし、産業活動の拠点都市として、新たな企業誘致や既存産業の基盤強化など高工業の活性化による活力ある都市空間づくりと雇用の確保による持続可能な都市の形成を目指します。

住んでよかった... ゆったりやすらぎの
田園都市・綾部

視察先自治体資料

生活排水処理の現状と今後の対応は

A インフラ整備は大切だ



榎谷 忠明 (未 来)

Q 下水道の進捗状況は。

A 公共下水道については、全体計画1084ヘクタールに対し494.3ヘクタールの認可区域を取得している。

Q 以前に南部集落排水の時も質問したが、人口が少ない地域は合併浄化槽が良いと思うが。

A 合併浄化槽事業で一応試算をした。期間的に言うと7〜8年かかる。

Q 下水道整備、この

厳しい財政状況での終了予定は。

A 平成42年終了予定だったが、5年延ばして平成47年に終了予定。

Q 下水道の整備は道路と並んでインフラ整備の双壁と思う、接続率は幾らか。

A 人口に対して下水道の普及率が47%、今、整備が終った所では67%の方がつなぎ込んでいる。

Q 単独浄化槽（くみ取り式）が10%、これを生活排水、汚水

処理できれいにしないと環境負荷が大変だと思う。これに対する取組は。

A 平成26年、27年は539基、28年度は520基で19基減っている。

Q 「浄化槽シンポジウム」に行つて、今の浄化槽は下水処理とほとんど変わらない性能がある事を学んだ。香春町は自治体設置型でやってるが、出来ないか。

A 合併浄化槽にしろ、農業集落排水にしろ、

今の財政状況の中で今すぐの整備をというのは厳しい。

Q 行政というのは走り出したら止まらない。町民は皆、同じ様な安心安全を享受しないとと思うが。

A タイムスケジュールで行くと、農業集落排水が11年、合併浄化槽事業だと7年かかる。

Q 白川地区（北部）は農業集落排水にする合併浄化槽にしる、排水処理は必要だが、白川地区全体について、町としては振興を図っていく。

Q コスト面での対比はどうなのか。

A 農業集落排水だと16億円、合併浄化槽だと4億円と見込んでいる。

Q 合併浄化槽一基で大体幾らかかるのか。

A 約90万円。

提言 行政は時代の要望や流れに対して対応が鈍いと思う。町長が言う様に企業感覚を持って対応して頂きたい。



ファシリティマネジメントの検討は

A これから検討する



友田 敬而 (未 来)

Q 公共施設等総合管理計画（ファシリティマネジメント）はどのように町政運営に生かされているのか。

A 一元管理が出来る様になったので、点検評価を繰り返して、財政運営に活かしていく。

Q 学校への空調設備設置を財源のあてもなく、急ぐのか。

A 議会、町民の皆さんから強い要望があつて、出来るだけ速やかに設置するように検討した。

Q 人口減少社会がすぐそこまで来ており、

既存の公共施設の維持管理も厳しい状態が予想される。空調設置も中長期的に検討して行わなければ、財政破綻の一因となる可能性が大きい。

A 今回の設置に関して、低コストの設置を主眼として検討した。

Q 今回の予算は、繰越明許も同時に行われている。12月議会で今年度の夏の空調設置を表明したが、

A 12月議会では、今年の夏につけたいという思いを表明した。その後検討した結果、夏までの設置が難しいことが判明したので繰越明許を行い来年までには完成したい。

Q 前政権の空調設置の大前提は、補助金獲得であった。どのような経緯で、前提がかわつたのか。

A 補助金申請は行っていない。補助金を待つて空調設置を行うと一年設置が伸び

る。

Q 町長の仕事は、補助金をとってくることにだけと考える。

A 補助金をとれる確約はない。補助金を待つより早くつけることが大切と考えている。

Q 現状の財政状況は余裕はない。今まで、空調設置を待たしては、急がなくてはならない、教育上のメリットは。

A 具体的な答弁は非常に難しい。

Q 空調のランニングコストについては、どのような財源の裏付けを行っているか。

A これから、検討する項目になる。Q 財政の大原則が守れなくて、7年連続の赤字になった。また同じことを繰り返すのか。

すのか。

A 財源の裏付けはこれから様々な方法を検討する。

Q 空調設置費用2億5千万円の75%が起債、残りが公共施設準備金から捻出。議会には、公共施設準備金は、本庁舎耐震化対応への積立と説明していたが。

A 早期に空調を設置したいので、準備金を流用した。

Q 財源の確保を自前の資金に頼ると資金繰りに行き詰まり赤字になる。そこがファシリティマネジメントと考えるが、そのような点は考慮していないのか。

A エアコンを早くつけることが重要。



町民温水プール

Q ぜひとも町長が先頭を切って、補助金獲得に尽力していただきたい。対町の体質改善を行ってほしい。

A 補助金を待つていては、設置が遅れる。

Q 温水プールも選挙公約で町民の意思として議会も認めた。しかし、その後財政破綻の一因となった。今回も財源の裏付けなしに進むことは危険である。

A できるだけ早く空調をつけたい。それだけである。



議会だより かんだ (136号)
平成30年4月25日発行

編集・議会広報特別委員会
発行責任者・坂本東二郎

〒8000-0392 福岡県苅田町富久町1-19-1
☎093-434-1981 FAX093-434-2099

かんだスコープ!

vol.10 西日本工業大学に聞く

「ものづくりの町」苅田にある西日本工業大学が
全国の頂点に立ちました



昨年12月に東京・両国国技館会で開催された「第29回全日本ロボット相撲大会」で初出場、初優勝を果たし、引き続き行われた世界大会でも4位に入賞し、文部科学大臣賞を受賞した西日本工業大学にお伺いしました。

この大会に出場したのは、工学部3年生の白石和茂さんと工学部4年生の脇水一斗さんのペアチームで、チーム名が「西工大マルス」、ロボット

名が「NITゼータオメガメガエヌ」というロボットで出場しました。

ロボット相撲は、直径約1.5メートルの土俵で2台のロボットが3分3本勝負で戦い、土俵の外の地面にロボットの一部分がいたら負けとなる競技です。「西工大マルス」は、あらかじめコンピュータプログラムで戦術を設定して戦う高度な自立型部門で出場、高校から一般まで1291チームが参加し激戦の中、地区大会から順調に勝ち上がり日本一に輝きました。

世界大会では、準決勝で優勝したポーランドに負けて4位の成績となりました。

2人はこれから後輩の育成を図り、次回は必ず世界一を獲得したいと抱負を語ってくれました。また、2人を指導した工学部の武村泰範准教授

は、ロボット相撲を通じて、大学で学んだことを実践して社会に活かし、少ない資源で高度な作業が可能になるものづくりや総合的な学習、予定管理、プロジェクトマネージメントを身に付けて社会に応用できるようにすることが、教育の効果だと話されていました。



今回の取材で、また一つ苅田町の誇れるお宝を見つけました。明るい未来が待ち受けているような魅力ある楽しい時間でした。

あとがき

森友・加計疑惑の真相究明について国内大荒れ。「政府に都合のいい人たちのためだけの政治でなく、一人ひとりが大切にされる政治を望みます」と若者はいう。国会でのやりとりを見て、もう「うんざり」と思ったときに誰が喜ぶのか。

一方では若い人たちの中には話しかけても「大丈夫です」といい「スマホ」に目を移しながら指一本で自分の疑問を解決している。しかし、「スマホ」に詰まっている様々な答えや解決方法は、手問をかけ、多くの人たちの話し合いなどで練り上げられた汗の結晶だということを忘れないでほしい。

梶原 弘子

表紙の写真



桜のある風景
(大熊公園)

議会広報特別委員会
委員長 小山信美
副委員長 友田敬而
委員 梶原弘子
井上 修
榎谷 明
白石 忠
岩谷 学
屏岩 正隆